東京電機大学大学院　先端科学技術研究科　平成26年度　講義要目（シラバス）

科目名	情報通信先端演習
英文名	Advanced Topics on Information and Communication
学部学科	先端科学技術研究科　情報通信メディア工学専攻
配当学年	1・2・3年次
開講時期	通年
単位数	4.0
必選区分	選択
担当者名	小林　岳彦

目的概要	・情報理論や電磁界理論をベースにしたワイヤレスシステム工学とその要素技術を理解し、さらにそれらの応用力を身に付け、研究の計画、実行および指導能力を体得する。 ・ワイヤレス通信、放送、レーダあるいはEMCなどの応用技術、標準およびそれらの歴史的背景に関する見識を涵養する。
教科書名	研究テーマや論文の進捗状況に応じて、学生に自ら選ばせる。 ・小林 岳彦（監訳）、岩切 直彦、大坐畠 智、幸谷 智、高橋 賢、森 香津夫、山嵜 彰一郎 共訳「ゴールドスミス　ワイヤレス通信工学」、丸善、東京、2007年8月. ・J. Li and P. Stoica (eds.), MIMO Radar Signal Processing, Wiley, Hoboken, NJ, 2009. など
参考書名	研究テーマや論文の進捗状況に応じて、学生に自ら選ばせる。 ・A. F. Molisch, Wireless Communications, IEEE Press, 2005. など
評価方法	・研究室打合せ資料、外部発表成果物およびそれらのプレゼンテーションの量と質 ・研究室打合せや学会などにおける発言状況、後輩への指導、学会におけるボランティア活動（運営協力、査読、座長など）
テーマ・内容	概ね次のような順序に従って指導する: ・教科書、他人の論文や口頭発表の内容を理解し、その価値を評価できるようになること。 ・自らの研究テーマを選定し、研究計画を策定・実施・見直しする能力の涵養。 ・複数の参加者を必要とする実験やシミュレーションの計画策定、実施、データ処理、成果取りまとめ。 ・国内口頭発表（大会あるいは研究会）（適切な投稿先の選定、論文作成、投稿に際しての諸手続き、発表スライドとスクリプト作成、発表練習、出張、発表、他人の発表の聴講と質疑討論、帰着後の諸手続きと研究上のフォローアップ）。 ・国際会議発表（適切な投稿先の選定、論文作成・投稿、投稿に際しての諸手続き、発表スライドとスクリプト作成、発表練習、渡航準備と外国出張、発表、他人の発表の聴講と質疑討論、帰国後の諸手続きと研究上のフォローアップ）。 ・原著論文（特に理由がなければ英文誌）の投稿先選定（一般投稿か特集号か）、執筆・投稿、投稿に際しての諸手続き、特に条件付採録に対する対処法。 ・運営協力を含む広義の学会（国内、国外）活動、特に論文査読の作法。 ・研究を指導する能力と人格の涵養。
E-Mail address	koba@c.dendai.ac.jp
履修上の注意事項・学習上の助言	社会人学生の場合は、研究室に出てくる時間は長くなくてもやむをえないが、電子メールなどで指導教員との連絡を密に取ること。